

学 園 報

No.44

富山国際学園 URL <http://www.tii.ac.jp/> 富山国際大学付属高等学校 URL <http://www.tuins-h.ed.jp/>
 富山国際大学 URL <https://www.tuins.ac.jp/> 富山短期大学付属みどり野幼稚園 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/info/midorino/>
 富山短期大学 URL <https://www.toyama-c.ac.jp/> 社会福祉法人富山国際学園福祉会にながわ保育園 URL <http://www.tkfukushikai.or.jp/ninagawa/>

●学校法人富山国際学園

〒930-0193 富山市願海寺水口444
 TEL/076-436-5139
 FAX/076-436-5444

アウトソーシングの時代



理事長
 金岡 克己

4月下旬、富山県公安委員長の一年の任期を終えました。この間、奥田交番襲撃、池多駐在所襲撃という死傷事件が発生。拳銃強奪を目的とした凶悪犯罪です。この事件を切っ掛けに、警察官、交番の安全に対する強化策が全国的に実施されるなど、富山県警察にとり記憶に残る年となりました。

公安委員という特別職につき、警察の統計に触れる機会が増えるにつれ、ある疑問が浮かび上がるようになりました。例を申し上げます。富山県において、刑法犯認知件数は、平成30年まで17年連続して減少しています。また、全国の交通事故による死者数は、1970年のピーク1万6,765人から昨年の3,532人まで、実に79%も減少しています。

不思議に感ずるのは、これだけの改善が図られ、安全な社会が実現されているにもかかわらず、一層の安心を求める声が止むことはなく、警察の繁忙が続くのはなぜだろうということです。思い当たったのが、アウトソーシングの時代という世相の変化です。この見解は、県警察の署長会議や機関誌年頭挨拶で紹介し、一定の賛同を得られたものと考えています。

数十年前のことを思い浮かべてください。家庭で老人を看取るのが普通感覚ではなかったでしょうか。現在は、ほとんどの方が病院で亡くなります。そして、生家に戻ることはなく、茶毘に付されます。すなわち、

冠婚葬祭、子女の保育・教育、介護、外食、家事代行など、以前は家庭内で行っていた行為まで、その多くを外部に委託する社会に変貌しているのです。

このアウトソーシングにより、現代生活が便利になったことは間違いありません。専門スタッフが業務をこなすのですから、社会の生産性も高まります。一方、確実に失われるものがあります。社会との関わり、手触り感、当事者意識などです。その結果、身近な問題の解決まで、市町村の窓口や警察に委ねる風潮が強まっています。

見逃せないのは、金を払っているのだからサービスを受けるのは当然という、権利意識の高まりです。モンスターといわれる人々が登場したのもこの世相の特徴かも知れません。サービスを提供する大変さ、対価の大きさが、理解されない時代になったのです。教育界の事情も似たようなものでしょう。義務教育を理由に、給食代の支払いを拒絶する親がいるのですから。

教員の多忙問題、コンビニの24時間営業の是非などの議論が起きています。その背景に、アウトソーシングの進展で、他人の努力、苦しみが分からなくなった、現代社会の歪みが横たわっているのかも知れません。

CONTENTS

- アウトソーシングの時代 理事長 金岡 克己 …………… 1
- 特集1 新しい教育システムへの転換
富山国際学園情報教育研究センターがスタート …… 2
- 特集2 富山短期大学付属みどり野幼稚園舎が竣工
新しい園舎で豊かな経験を …………… 3
- 特集3 平成30年度 教育者表彰
(文部科学大臣表彰)受賞に際して…………… 4
- 特集4 富山国際大学 呉羽キャンパス発！こども食堂物語
「ちょっと おいでま こども食堂キャンパス」がついに本格オープン
…………… 4
- 平成31年度入試状況・平成30年度進路状況等 …………… 5
- 学園退職者・新任者一覧 …………… 5
- 平成31年度予算概要 …………… 6～7
- 学園NEWS …………… 8

新しい教育システムへの転換 富山国際学園情報教育研究センターがスタート

富山国際学園情報教育研究センター次長 富山国際大学 教授 上坂 博亨

平成 31 年 4 月、富山国際学園内の教育機関（富山国際大学・富山短期大学・富山国際大学附属高等学校）が一体的・効果的に情報分野の教育研究や情報基盤の整備等を推進するために、「富山国際学園情報教育研究センター」が設置されました。

従来から本学園の情報システムやネットワーク基盤はそれぞれの教育機関の方針に従って各々独立に整備され、運用されてきました。大学等の高等教育機関では 1985 年ごろから JUNET の名前で整備されたネットワークを利用して、情報通信網を独自に築いてきました。一方高等学校では、JUNET の商用解放と汎用化に連動して 1998 年に初めて学校向けのネットワークドメインである「.ed」が発行されるとともに、文部科学省によって教科「情報」が整備されて 2003 年から本格的に正科として情報教育が開始されました。このような我が国の情報化黎明期の背景から、本学園の情報化基盤も統合化されにくかったと言えないこともありません。

（富山国際大学の情報基盤と教育の現状）

2000 年に従来の 1 学部体制から 2 学部に拡大されるとともに、東黒牧キャンパスに富山国際大学情報センターが誕生しました。センターが管理するのは、情報インフラとして学内ネットワークと関連サーバ群、教育環境として WindowsNT ドメインの仕組みを利用した共用コンピュータ環境でした。現在では学外接続も 1Gbps に拡張され、全学生が PC 必携、学内のほとんどの場所で Wi-Fi が利用でき、タブレットやスマホを活用した授業が実施可能な状況となっています。

（富山短期大学の情報基盤と教育の現状）

2012 年度に文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業」の補助金を得て整備した「Web シラバス・システム」は、紙ベースのシラバスを廃止して、授業・学修支援システムを構築するためのシステムです。シラバスをネットワーク上に置き、教材や参考資料を添付する、あるいはリンクを貼ることにより、いつでも、どこからでも、インターネットに接続できる環境があれば、予習・復習や課題提出が可能な環境となりました。さらに 2014 年度に、文部科学省「大学教育再生加速プログラム（AP）」（テーマⅡ学修成果の可視化）に選定されてからは、教員の成績入力や各種学生アンケートを、すべてこのシステム上で行い、「学修成果の可視化」のためのインフラを整えつつあります。（教育研究員 富山短期大学 准教授 小西孝史）

（富山国際大学附属高等学校の情報基盤と教育の現状）

2011 年にクラウド化を開始し、ICT 教育の基盤構築が始まりました。その 2 年後に iPad を試験導入し、

翌年の 2014 年から新入生全員が iPad を購入する体制を確立しました。高速無線 LAN、プロジェクター、低反射のホワイトボードを全教室に設置するなどハード面を充実させつつ、データサイエンス教育やプログラミング教育を推進し、「データで考える」生徒を育成してきました。毎年 ICT 教育公開研究会を開催し、のべ 300 名以上が公開授業を見学されました。本校の全教員も公開授業を担当できるほど IT スキルを向上してきました。他にも VR や 3D プリンタ、GIS などを実際に使いながら、テクノロジーを使って社会問題を解決する ICT 教育を実践しています。（教育研究員 富山国際大学附属高等学校 教諭 橋本知彦）

（富山国際学園情報教育研究センターの役割）

2018 年 11 月に中央教育審議会が示した 2040 年ごろの社会変化の方向（表 1）に向けて高等教育機関の情報化ポリシーの変革が求められています。特に第 2 項の Society5.0 においては「AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が高度化して実装された、日本ならではの持続可能な社会の実現」が明記され、情報化への新しい対応が求められることとなりました。そのような変革に対しさらに迅速に、また学園全体として統一的に対応していくために、当センターが設立されました。当センターのミッションは主に以下のとおりです。

- ① 学園内の情報教育および研究の基本方針の策定
- ② ICT を活用した情報教育システムと教育プログラムに関する調査研究
- ③ 学園内の情報基盤整備と、教育・経営情報データ統合や IR 活動の推進
- ④ 各機関の連携、地域への情報教育への貢献の推進
- ⑤ 情報関連の研究・調査活動の推進、及び外部機関との共同研究・調査の支援

テクノロジーが急速かつ継続的に変化し、グローバル化によって今までにない相互依存性が求められると言われる近未来に向けて、普遍的な基礎知識を持ちながらも新しい技術への対応力を備えた人材の育成をめざして組織を運営していきたいと考えます。学園の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

表 1. 2040 年ごろの社会変化の方向

1	SDGs が目指す社会への対応
2	Society5.0：第 4 次産業革命が目指す社会への対応
3	人生 100 年時代を迎える社会への対応
4	グローバル化が進んだ社会への対応
5	地方創生が目指す社会への対応

※中央教育審議会 平成 30 年 11 月 26 日（答申）より

富山短期大学附属みどり野幼稚園舎が竣工 新しい園舎で豊かな経験を

富山短期大学附属みどり野幼稚園 園長 石動 瑞代

園庭が戻ってきた！

平成 31 年 3 月。子どもたちが待ちに待った園庭が完成し、附属みどり野幼稚園の改築工事がすべて完了しました。工事の準備として、保育室の引越しを始めたのが平成 29 年の 10 月。以来 1 年半もの間、子どもたちには、少し不自由な生活が続いていました。何よりも園庭で遊ぶことが大好きな子どもたちにとって、工事の影響で外遊びのスペースが小さくなったことは、とても淋しいことだったようです。

平成 30 年 8 月の I 期工事終了で、生活の大部分を占める新園舎が完成し、子どもたちは 9 月から新しい保育室での生活を始めました。明るい光と木の温もりを感じる保育室や広々と開放的なプレイルームに歓声をあげ、日々の生活を楽しんでいた子どもたちでしたが、わずかに残っていた園庭がまったく使用できなくなったことも事実。加えて、親しみのある園舎が爆音を立てて壊されていく様子を間近に感じ、複雑な思いを抱く子どももいました。それでも、園庭に残るケヤキの木が凛と立っていることに安心し、再びケヤキの木の下で遊ぶことをずっと心待ちにしてきた子どもたちです。幼稚園の竣工式は、園庭が幼稚園に戻ってくる特別な日として、子どもたちの大きな期待で迎えられました。



竣工式～感謝の気持ちをこめて

平成 31 年 3 月 10 日(日)、工事関係者や地域の方、学園関係者を招き、竣工式を行いました。園舎を清め祓い、安全を祈願する儀式が行われた後、金岡克己富山国際学園理事長から工事関係者への感謝状が手渡されました。神官の方から、「『みどり』は、幼い子どもや新芽に関連する語で、瑞々しく生命力溢れる状態を意味する」とのお話を聞き、みどり野幼稚園もまた、清らかで活気あふれる園として発展してほしいと改めて感じました。

竣工式には年長児が参加し、工事でお世話になった方にお礼の言葉と「ありがとうの花」の歌を贈りました。「暑い日も寒い日も、朝早くから一生懸命工事をしてくれた」と工事の人たちを気遣っていた子ども

ちです。「素敵な園舎を作ってくれてありがとう」「大切に使います」と心を込めて伝えていました。翌日には、全園児で「ありがとうの会」を開き、年少児・年中児も、それぞれの感謝の気持ちを伝えることができました。



楽しく遊べる幼稚園に

幼稚園の園庭には 2 つの大きな築山と 2 カ所の砂場、畑があります。2 階の広い屋上スペースに上がる階段は、アスレチックやデッキが付設され、豊かな遊びを引き出す環境となっています。そして、ブランコや木登りができるケヤキの大木をはじめ、桜やイチョウ、モミジなど季節を彩る木、ビワなどの実のなる木が自然環境をつくっています。子どもたちが、新しい幼稚園で、どんな遊びを展開するのかとても楽しみです。遊びを通して豊かな経験を重ねてくれることを願っています。



工事概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 建築面積 | 鉄骨造一部 2 階建て 1,241㎡ |
| (2) 工期 | 平成 29 年 11 月 17 日
～平成 31 年 2 月 28 日 |
| (3) 事業費 | 544,460 千円 (税込) |
| (4) 設計業者 | 株式会社 押田建築設計事務所 |
| (5) 請負業者 | 近藤建設・石坂建設共同企業体 |

平成30年度 教育者表彰(文部科学大臣表彰)受賞に際して

富山国際大学附属高等学校 校長 倉田 延邦

教員の勤務年数が長い私立の場合、表彰は教員団に対しての意味合いが強く、校長は単なる代表者だと考えるほうが妥当です。そう考えると、学校が評価されたわけで、大変喜ばしいことだと思えるようになりました。

さて、今回の受賞に至った経過と理由について、いくつか考えてみました。

①英語教育

平成16年～21年の2期連続にわたり文部科学省から、Super English Language High Schoolに認定されました。2期連続は全国的にもわずかに十数校でした。今では国際教育とからめた英語教育は富山県内で高い評価を受けています。

②ユネスコスクール

平成24年に富山県の高等学校で初めてUNESCO Associated Schoolに認定されました。現在は、SDGSの達成にむけての努力が県内でも高く評価されています。

③ICT教育

平成25年から段階的に校内のIT化を進め、現在では自他ともに認める県内トップのICT教育実践校になりました。

④国際化

平成30年度、本校生徒の国籍は17か国です。また、生徒間交流を活発に行っている海外姉妹校・協力校9校、(加えてアメリカの高等学校から姉妹提携の打診があり、前向きに検討中)。国際高には国境の壁は徐々になくなっていきます。平成4年に富山国際大学附属高等学校に校名変更して以来、校名の「国際」にこだわった学校作りを一步一步進めてきた努力が実りました。県内では例を見ない学校の国際化が進行しています。

〈さいごに〉

今回の受賞は、長年にわたる富山国際学園の皆様のおかげです。心から感謝いたします。天皇陛下に、初めて拝顔の栄に浴したことが一生の思い出になりました。



富山国際大学 呉羽キャンパス発！こども食堂物語

「ちょっこおいでま こども食堂キャンパス」がついに本格オープン

ちょっこおいでま こども食堂キャンパス実行委員会 顧問

富山国際大学 教授 村上 満

2019年4月20日(土)、富山国際大学呉羽キャンパスに、富山県内初の大学生運営による新しいこども食堂「ちょっこ おいでま こども食堂キャンパス」がオープンするという物語(第3章)がスタートしました。

まずは、これまでのあらすじを紹介します。第1章(2017年度)は、「思考編」です。こども食堂の新たなニーズを探ることから始まり、貧困対策だけでなく、子どもの遊び場や学習支援、保護者の育児相談及び交流等、新たな機能がこども食堂に求められていることが分かったという内容となっています。そして、私たちから、私たちで、私たちが“今できること”は、これらの新たなニーズに挑戦しながら、応えていくことができる“学生主体”のこども食堂を立ち上げることだというストーリー展開となっています。

第2章(2018年度)は、「試行編」です。食堂名を「ちょっこ おいでま こども食堂キャンパス」と命名し、実行委員会を組織化させ、県内こども食堂への修行体験をはじめスタッフの教育訓練や、「そらいろこども食堂(新潟県立大学と新潟青陵大学の大学生による共同運営)」との合同研修会の実施、そして2

回のプレオープンと「こども食堂サミット in 富山」の開催へと内容となっています。

第3章の今年度は、「施行編」です。原則第4土曜日を開催日とし、学生食堂運営委託会社である(株)フードシステムとの本格的な協働に加え、呉羽・東黒牧キャンパスのサークルや富山短期大学食物栄養学科のほか富山市社会福祉協議会ボランティアセンターとも連携し、地域の様々な活動の場も取り入れた、これまでにない新しい機能を発揮させていくといった盛りだくさんの内容となる予定です。

今後も、このような学生達の自主活動(“大学生から”つくり始める「自発性」、 “大学生で”つくっていく「自律性」、 “大学生が”つくっていく「主体性」)をあたたく見守り、支えたいと思います。そして、学生という“強み”を活かしたこの新たな物語をソーシャルアクションの視点から、生きた教材としてもまとめていきます。地域に求められ、地域で受け入れられていく場所にしていくためにも、安心かつ安全を安定的に提供するという、あたりまえのことをあたりまえにし続けられるよう、物語は、まだまだつづきます。

平成31年度入試状況

大学

(平成31年4月3日現在)(単位:人)

学部	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
現代社会	120	329	326	242	146
子ども育成	90	270	270	197	99
合計	210	599	596	439	245

※現代社会学部の合格者数には、第二志望合格5名を含む
 ※子ども育成学部の合格者には、第二志望合格者1名を含む

短大

(平成31年4月3日現在)(単位:人)

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
食物栄養	80	138	138	132	89
幼児教育	80	160	158	139	92
経営情報	110	186	185	177	134
健康福祉	40	58	58	56	42
食物栄養専攻	15	12	11	11	11
合計	325	554	550	515	368

※食物栄養学科、健康福祉学科の合格者数には、第二志望合格者を含む

高校

(平成31年4月7日現在)(単位:人)

コース	募集人員	出願者	受験者	入学者
国際英語コース	2クラス	183	183	49
特進コース	2クラス	504	503	50
フロンティアコース	4クラス	395	388	170
合計	8クラス	1082	1074	269

平成30年度進路状況

(令和1年5月1日現在)(単位:人)

学部	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者
現代社会	119	102	102	100.0	8
子ども育成	95	92	92	100.0	3
合計	214	194	194	100.0	11

※現代社会学部の進学者には、大学院研究生等4名を含む
 ※子ども育成学部公立教員採用選考検査合格者29名

(令和1年5月1日現在)(単位:人)

学科	卒業生	就職希望者	就職決定者	決定率(%)	進学者	研究生
食物栄養	84	74	74	100.0	6	297
幼児教育	81	80	80	100.0	0	
経営情報	114	109	109	100.0	3	
福祉	35	31	31	100.0	3	
食物栄養専攻	14	3	3	100.0	0	
合計	328	297	297	100.0	12	

※研究生のうち、2名は就職決定者を含む

(平成31年3月31日現在)(単位:人)

大学	合格者	入学者	短期大学	合格者	入学者	その他	合格者	入学者	卒業生
富山国際大学	27	23	富山短期大学	36	31	専修各種学校	71	67	297
国公立大学	14	14	公立短期大学	0	0	就職		38	
他の私立大学	171	103	他の私立短期大学	11	9	その他		12	
合計	212	140	合計	47	40	合計		117	

※就職進学者2名を含む

平成31年度入園児童

幼稚園

(平成31年4月7日現在)(単位:人)

	男	女	合計
3歳児	12	16	28
4歳児	3	1	4
5歳児	1	0	1
合計	16	17	33

平成30年度卒園児童

(平成31年3月31日現在)(単位:人)

	男	女	合計
5歳児	14	14	28

◆退職者一覧(平成31年3月31日)

- 〈学園本部〉 林 清文(事務局長 常務理事)
- 〈大学〉 秦野るり子(現代社会学部 教授)
- 大西 一成(現代社会学部 教授)
- 高木 茂子(学務部学生課 係長)
- 寺崎 小梅(学務部学生課 主事)
- 〈短大〉 堀田 裕史(食物栄養学科 教授)
- 大崎 佑一(経営情報学科 教授)
- 大門 信吾(経営情報学科 教授)
- 西井 啓子(福祉学科 教授)
- 山川(内山) 賀世子(幼児教育学科 准教授)
- 坂井 一貴(経営情報学科 准教授)
- 加納 輝尚(経営情報学科 准教授)
- 山岸 博美(食物栄養学科 講師)
- 〈高校〉 松原美穂子(教諭)
- 酒井 節子(副主幹)

◆新任者一覧(平成31年4月1日付)

- 〈学園本部〉 黒崎紫抄代(事務局長)
- ※令和元年6月1日付 常務理事
- 〈大学〉 高木 利久(学事顧問 情報教育研究センター長 教授)
- 渡部 恵子(現代社会学部 教授)
- 河野 信(現代社会学部 准教授)
- 一井 崇(現代社会学部 講師)
- 小橋菜見子(学務部学生課 主事)
- 〈短大〉 太田裕美子(食物栄養学科 准教授)
- 馬見塚(嶋野) 珠生(幼児教育学科 准教授)
- 田中夕香子(経営情報学科 准教授)
- 篠田 隆行(経営情報学科 准教授)
- 春名 亮(経営情報学科 准教授)
- 藤野 裕(経営情報学科 講師)
- 毛利 愉子(健康福祉学科 講師)
- 加藤真奈美(健康福祉学科 主事兼実習助手)
- 〈高校〉 伊井 昌彦(教諭)
- 西村 一也(講師)

平成31年度 予算概要

平成31年度の事業計画及び予算は、去る3月29日(土)の評議員会・理事会において承認されました。

各校ごとの主な事業計画及び予算の特徴は以下のとおりです。

大学

子ども育成学部は、昨年度、入学定員を80名から90名に増員しましたが、教員採用試験合格者の実績が顕著なことから、安定的に入学定員を確保しています。一方、現代社会学部では慢性的な入学定員割れが続いておりましたが、「英語国際キャリア専攻」を設置するなど、多様な学習環境を志願者にアピールしてきた結果、2年続けて定員を確保することが出来ました。

大学の定員確保は学園の存続にかかわる重要事項であり、教育内容の充実と共に、学生目線に立った学生募集活動を行い、今後とも安定的に定員確保をめざさなければなりません。

主な事業としては、①新たなアクションプランに基づく多様な取り組みの推進及び外部資金の獲得、②現代社会学部では、従来のグローバル化社会に対応した人材育成に加え、情報教育の充実を図り、情報化社会にも対応できる人材育成の強化、③子ども育成学部の入学定員増を踏まえ、良好な教育サービス及び教育環境の継続的な提供などとなっています。

なお、当年度収支については、補助金等収入の減少が予想されることから、約25百万円の赤字を見込んでいます。

短大

短大は、全国的な四年制大学への進学志向の流れを受けて、近年は志願者・定員確保に苦戦していましたが、今年度は短大全体として定員確保することができました。しかし、短大を取り巻く環境は依然として厳しく、今後、短大としての優位性を意識した学生募集活動について、積極的に検討しなければなりません。特に、学科名称を変更した「健康福祉学科」は本学独自の教育の多様性をアピールし、社会のニーズに応えなければなりません。

主な事業としては、①学修成果の可視化システムの継続的な向上に努め、教育の質保証を確保するため、教育環境の整備に努める、②各学科の特徴を積極的に伝える広報戦略と学生募集戦略の展開、③専攻科食物栄養専攻について、特例適用専攻科の認定を受けるための諸準備推進などとなっています。

なお、当年度収支については、約12百万円の赤字となるものと見込んでおり、3年続けての赤字予算となりました。

高校

高校は、英語教育の充実による各種コンテスト等の上位入賞やiPadを利用した先進的なICT教育の推進により、教育内容が県内外で評価され、専願の志願者が増加するなど、近年は学園内で最も安定的に生徒数を確保してお

資金収支予算書

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで (単位：千円)

	平成31年度予算額	平成30年度当初予算額	差異	
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,015,866	1,949,788	66,078
	手数料収入	37,435	37,927	△ 492
	寄付金収入	1,903	1,905	△ 2
	補助金収入	589,341	632,503	△ 43,162
	資産売却収入	1	1	0
	付随事業・収益事業収入	27,938	34,523	△ 6,585
	受取利息・配当金収入	8,220	10,220	△ 2,000
	雑収入	59,427	99,235	△ 39,808
	借入金等収入	0	0	0
	前受金収入	441,812	443,062	△ 1,250
	その他の収入	173,388	595,144	△ 421,756
	資金収入調整勘定	△ 557,572	△ 640,501	82,929
	前年度繰越支払資金	819,103	828,000	△ 8,897
	収入の部合計	3,616,862	3,991,807	△ 374,945
支出の部	人件費支出	1,685,066	1,693,307	△ 8,241
	教育研究経費支出	593,615	607,104	△ 13,489
	管理経費支出	139,385	128,753	10,632
	借入金等利息支出	0	0	0
	借入金等返済支出	0	0	0
	施設関係支出	23,836	338,046	△ 314,210
	設備関係支出	35,224	39,567	△ 4,343
	資産運用支出	4,512	359,730	△ 355,218
	その他の支出	158,500	182,500	△ 24,000
	[予備費]	15,500	15,500	0
	資金支出調整勘定	△ 100,000	△ 139,700	39,700
	次年度繰越支払資金	1,061,224	767,000	294,224
	支出の部合計	3,616,862	3,991,807	△ 374,945

事業活動収支予算書

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで (単位：千円)

	科 目	平成31年度 予算額	平成30年度 当初予算額	差異
教育活動収入	学生生徒等納付金	2,015,866	1,949,788	66,078
	手数料	37,435	37,927	△ 492
	寄付金	3,906	6,906	△ 3,000
	経常費等補助金	589,341	632,503	△ 43,162
	付随事業収入	27,938	34,523	△ 6,585
	雑収入	59,427	99,235	△ 39,808
	教育活動収入合計(1)	2,733,913	2,760,882	△ 26,969
	人件費	1,689,066	1,698,907	△ 9,841
	教育研究経費	940,615	931,104	9,511
	管理経費	142,384	131,552	10,832
徴収不能額等	1	1	0	
教育活動支出合計(2)	2,772,066	2,761,564	10,502	
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)	△ 38,153	△ 682	△ 37,471	
教育活動外収入	受取利息・配当金	8,220	10,220	△ 2,000
	その他の教育活動外収入	1	1	0
	教育活動外収入合計(4)	8,221	10,221	△ 2,000
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出合計(5)	0	0	0	
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)	8,221	10,221	△ 2,000	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	△ 29,932	9,539	△ 39,471	
特別収入	資産売却差額	1	1	0
	その他の特別収入	3,503	4	3,499
	特別収入合計(8)	3,504	5	3,499
	資産処分差額	5,100	30,000	△ 24,900
	その他の特別損失	1	1	0
特別支出合計(9)	5,101	30,001	△ 24,900	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 1,597	△ 29,996	28,399	
【予備費】(11)	15,500	15,500	0	
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)	△ 47,029	△ 35,957	△ 11,072	
基本金組入額合計(13)	△ 28,470	△ 157,288	128,818	
当年度収支差額(14)=(12)+(13)	△ 75,499	△ 193,245	117,746	
前年度繰越収支差額(15)	△ 2,762,278	△ 2,776,130	13,852	
基本金取崩額(16)	0	0	0	
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)	△ 2,837,777	△ 2,969,375	131,598	
(参考)				
事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	2,745,638	2,771,108	△ 25,470	
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	2,792,667	2,807,065	△ 14,398	

平成31年度部門別事業活動収支予算書

(単位：千円)

ります。今後とも、現状に満足することなく、更なる教育内容の充実についての発展的検討や、今後訪れる生徒急減期に向けた対策についての検討も必要です。

主な事業としては、①国際化教育及びICT教育の推進、②令和3年4月から実施予定の大学入試改革を見据えて、きめ細かい学習指導実施のための新たな校務支援システムの導入・稼働、③良好な教育サービスの提供及びクラブ活動を含めた教育環境整備などとなっています。

なお、当年度収支については、約26百万円の黒字と堅調に推移するものと見込んでいます。

幼稚園

昨年度、園舎改築工事が完了し、本年4月から、幼稚園型認定こども園として新たなスタートを切りました。今後は、新園舎の魅力を発信するとともに、認定子ども園としての保育内容周知に努め、園児募集に注力しなければなりません。

主な事業としては、幼稚園型認定こども園として新たな幼児教育・保育ニーズに対応した取り組みの推進などとなっています。

平成29～30年度の2カ年にわたり園舎改築のため、入園者を抑制したことから、当年度収支は前年度よりも縮小するものの赤字となる見込みです。

学園全体

事業活動収支予算において、事業活動収入合計が2,746百万円（対前年度当初予算比25百万円減・0.9%減）となっています。事業活動支出合計は2,793百万円（同14百万円減・0.5%減）となり、これから基本金組入額を差し引いた当年度収支差額が75百万円の赤字予算となりました。

資金収支予算において、平成31年度の諸活動に対応する収入として、学生生徒等納付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、令和2年度入学生の前受金、平成30年度末の未収入金の見込額等が計上されています。

一方、支出は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設・設備関係支出等が計上されています。その結果、平成31年度の諸活動に対応する全ての収入・支出の資金として、3,617百万円（同375百万円減・9.4%減）が見込まれています。

学園の財政状況は、単年度予算ベースは、3年連続の赤字となりました。幼稚園園舎の建て替え工事が完了したにもかかわらず、赤字予算となっていることは、学園の財務状況が深刻な状況にあると言えます。特に、大学・短大においては、定員確保しながらも赤字予算となっていることを深刻に受け止め、外部資金や寄付金など多様な収入確保に努めるとともに、経費の効率的執行に努めなければなりません。

活動区分	科目	部門	法	人	大	短大	高	校	幼稚園	総額
教育活動収支	取事入業の活動	学生生徒等納付金		0	886,248	703,830	413,367	12,421	2,015,866	
		手数料		0	12,651	12,454	12,300	30	37,435	
		寄付金		1	1,902	3	1,000	1,000	3,906	
		経常費等補助金		0	134,077	145,521	279,659	30,084	589,341	
		付随事業収入		0	14,005	7,469	0	6,464	27,938	
	雑収入		200	34,696	23,020	1,511	0	59,427		
	教育活動収入合計(1)		201	1,083,579	892,297	707,837	49,999	2,733,913		
	支事出業の活動	人件費		25,452	636,525	536,395	443,485	47,209	1,689,066	
		教育研究経費		0	399,431	300,953	206,007	34,224	940,615	
		管理経費		12,675	58,903	51,752	18,184	870	142,384	
徴収不能額等			0	1	0	0	0	1		
教育活動支出合計(2)			38,127	1,094,860	889,100	667,676	82,303	2,772,066		
教育活動収支差額(3)=(1)-(2)		△37,926	△11,281	3,197	40,161	△32,304	△38,153			
教育活動外収支	取事入業の活動	受取利息・配当金		8,020	100	100	0	0	8,220	
		その他の教育活動外収入		0	0	1	0	0	1	
		教育活動外収入合計(4)		8,020	100	101	0	0	8,221	
	支事出業の活動	借入金等利息		0	0	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出		0	0	0	0	0	0	
教育活動外支出合計(5)		0	0	0	0	0	0			
教育活動外収支差額(6)=(4)-(5)		8,020	100	101	0	0	8,221			
経常収支差額(7)=(3)+(6)		△29,906	△11,181	3,298	40,161	△32,304	△29,932			
特別収支	取事入業の活動	資産売却差額		0	0	1	0	0	1	
		その他の特別収入		0	1,000	1,003	1,000	500	3,503	
		特別収入合計(8)		0	1,000	1,004	1,000	500	3,504	
	支事出業の活動	資産処分差額		0	600	4,000	500	0	5,100	
		その他の特別損失		0	0	1	0	0	1	
特別支出合計(9)		0	600	4,001	500	0	5,101			
特別収支差額(10)=(8)-(9)		0	400	△2,997	500	500	△1,597			
【予備費】(11)		2,000	5,000	5,000	3,000	500	15,500			
基本金組入前当年度収支差額(12)=(7)+(10)-(11)		△31,906	△15,781	△4,699	37,661	△32,304	△47,029			
基本金組入額合計(13)		△10	△9,299	△6,813	△11,376	△972	△28,470			
当年度収支差額(14)=(12)+(13)		△31,916	△25,080	△11,512	26,285	△33,276	△75,499			
前年度繰越収支差額(15)		—	—	—	—	—	△2,762,278			
基本金取崩額(16)		—	—	—	—	—	0			
翌年度繰越収支差額(17)=(14)+(15)+(16)		—	—	—	—	—	△2,837,777			

(参考)

事業活動収入合計(1)+(4)+(8)	8,221	1,084,679	893,402	708,837	50,499	2,745,638
事業活動支出合計(2)+(5)+(9)+(11)	40,127	1,100,460	898,101	671,176	82,803	2,792,667

また、度々申し上げていますが、今後、学園では大規模な資金需要案件が、呉羽キャンパスにおいては、短大Ⅱ期工事、高校第2体育館建設、また、東黒牧キャンパスでは、校舎老朽化対策があります。現在の学園の財務状況では、これらの事業に着手することは容易ではなく、各校においては、従来にも増して学園全体を視野に入れた財務改善に取り組まなければなりません。

我が国の私学を取り巻く環境は、少子高齢化の進行、総人口の減少など非常に厳しい環境下にあります。加えて、教育無償化、入試改革など国の行政の施策も次々と打ち出され、それらにも対応していかなければなりません。一方、県内においても、県立高校の再編計画が確定し、小中学校の統廃合も議論されるなど、学園を取り巻く環境もより厳しさを増しています。

これらに対応するためには、学園として、中長期的な視野を持って、将来構想を描いていくことが必要となります。昨年度から1年間かけて検討してきた「学園将来構想検討委員会」からの提案について、実現可能性を見極めるとともに、日々変化する社会の学園へのニーズに対しても柔軟に対応していくことが、県内唯一の幼稚園、高校、短大、大学を擁する総合学園として、最重要であると言えます。

富山国際大学

平成31年度公立教員に現役生29名、卒業生16名が合格

子ども育成学部第1期生6名の合格からスタートした「公立教員採用選考検査」において、第7期生が29名合格。合格率は、開学部以降最高の64.4%になりました。また、卒業生も16名合格。これは、子どもたちの育ちとその環境を一体的に捉えていく「教育と福祉のハイブリッド」を教育理念に掲げ、「よりよい育ちの環境」を整えていく課題に対応できる視野を養ってきたこと、先輩や卒業生の体験を聞く機会を定期的に設け、教職のやりがいや教員になるための計画性を育ててきたことの成果です。また、卒業後の3年間は、勤務校を大学教員が訪問し、働きぶりを把握し指導・支援を行ったり、授業「キャリア支援講座」を学びたい卒業生にも開放し学習の機会を提供したりしてきました。これまでの対応が、在学生の学びの自信にも繋がり、互いを刺激し合いながら協力していく環境を作り出してきました。今後も、この取り組みを継続し、学びの環境を整えていきたいと思えます。

富山短期大学

大学コンソーシアム富山

学生による地域フィールドワーク研究成果発表会において最優秀賞受賞

平成31年2月27日(水)、大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」で平成30年度「学生による地域フィールドワーク研究」の研究成果発表会が開催されました。今年度の応募は22件、その中から採択を受けた10件の中での最優秀賞受賞となりました。受賞した幼児教育学科明柴ゼミ17名の研究テーマは、「障がいのある子どもや大人の施設で働く保育士の専門性」についてです。非常に難しいテーマでしたが、学生が主体的に取り組み、県内14施設をフィールドワークすることで、見て・聴いて・学ぶことができました。この学びが、これからの保育者としての探究心と人間性と専門性の向上に努める一助となってくれると思えます。



富山国際大学附属高等学校

新入生を迎えて



平成31年4月6日(土)に入学式を挙行了しました。本年も定員を上回る269名の新入生を迎え、また多くの保護者の方にも参列いただき、式場はぎっしりと人に埋め尽くされました。式は粛々と進行し、富山市立西部中学校出身の北條心春(ほうじょう こはる)さんが、新入生代表として、高校生活への期待と抱負を語ってくれました。

今年度の新入生は国際英語コース2クラス、特進コース2クラス、フロンティアコース4クラスの編成でスタートします。これで国際コース・特進コース各2クラスの編成が3学年まで揃いました。全校のほぼ半数のクラスが国際・特進系のクラスとなったこと、そして県

内私学で唯一10年連続の入学定員確保となったことなど、生徒、保護者の皆様から寄せられる期待や要望にしっかりと応え、生徒たちの力を最大限引き出せるよう、教職員一同努めてまいります。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

新しい幼稚園に獅子が来たよ!

平成31年4月13日(土)、幼稚園で親子交流会を開催しました。この日は親子で登園し、新しいクラスで自己紹介やゲームをした後、願海寺・野々上地区の獅子舞を楽しみました。新園舎になって初めての獅子舞ということもあり、獅子は園舎の中にも入りお祝いしてくれました。園児たちの目の前で舞う獅子はすごい迫力で、子どもたちもひきこまれていました。年長児は獅子の中に入れてもらったり、獅子に頭を噛んでもらったりと、獅子にふれあう体験もできました。

今回は地域の方に新しい幼稚園を見学していただく内覧会も行いました。多くの地域の方にお越しいただき、「きれいになったね。」などと声をかけていただきました。あらためて地域の方に見守られていることを実感できるよい機会となりました。

